

編 集 後 記

今年は近畿以東の中部、東北日本が長雨、集中豪雨等で大きな被害を受け、10月半ばを過ぎて台風が上陸するという異常な気象に見舞われました。

さて、きべりはむし第26巻第2号ができておりましたのでお届けします。今回は早くから原稿が集まり、内容的にも大変豊富なものとなりました。兵庫県のオサムシは、比較的よく調査されており、これまでに多く発表されていますが、今回の高橋寿郎氏の記事はその集大成というべきものです。このような形のまとめはこれまで蝶類で見られる程度で、それ以外の昆虫についてはあまり行われていません。記録の集積がままならないためでもあるのですが、ある時点でのまとめをしておくことは今後研究される方にとって、過去に発表された文献を収集する手間と労力を省くことができ、大変便利で価値ある仕事だと思えます。

木下修一氏からは池田市のチョウトンボについての観察記録を寄せていただきました。これまで本会では兵庫県の昆虫相の解明を主目的として活動してきましたが、そもそも兵庫県という区分は人為的なものであり、その境界付近では互いに共通する昆虫相を呈するはずで、したがって、他府県のデータであっても兵庫県との境界付近の記録は大いに参考になるところであり、記事の掲載に当たってはとくに「県境」にこだわらない編集方針をとりたいと考えております。

山口福男氏からはキベリハムシの大発生の様子やメスアカムラサキの発生など報告いただきましたが、こういったトピックスは日頃から観察眼を鍛えていればこそその業であると敬服する次第です。

八木剛氏からは締切間際に興味深い内容の原稿が届きました。キリガ類の環境指標昆虫としての有効性について詳しく検証されています。単なる分布調査だけにとどまらず、こういった観点から昆虫を眺めることの意義深さを改めて感じます。

高橋寿郎氏著による「日本産コガネムシ類分類目録」は大変反響が大きく、昆虫専門の通販店でも扱っていただきましたが早々と絶版となりました。その後入手できた新情報もあるため記載方法を若干変更の上、全面改定による第2版を現在作成中です(来春刊行予定)。

次回のきべりはむしは5月発行です。原稿締切は1999年3月末日とします。揮って御投稿下さい。とくにトピックス大歓迎です。

(編集担当 近藤伸一・高島 昭)

きべりはむし 第26巻 第2号

1998年11月25日発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652-0054 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方
振替 01170-3-26646

編集：近藤伸一・高島昭

原稿送付先 〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島昭宛

印刷：岩峰社・東京